

収穫調査委託契約書

1. 調査名、委託予定数量、委託単価、委託予定金額及び調査場所

調査名 (森林管理署等名)	委託 予定数量	委託 単価	委託予定金額	調査場所
令和7年度胆振東部森林管理署収穫調査業務委託7号(地上型3Dレーザスキャナを使用した収穫調査)	35.85ha		委託金額 _____ 円也 (うち取引に係る消費税及び地方消費税額 _____ 円也)	別紙調査内訳書のとおり

(注)()の部分は、受託者が課税対象業者である場合に使用する。

2. 調査期間

自 令和 7 年 月 日(契約締結日の翌日)
至 令和 8 年 3 月 2 日

3. 契約保証金 免 除

4. 特約事項

上記委託事業につき、委託者 分任支出負担行為担当官 胆振東部森林管理署長 玉館 力 (以下「甲」という。)と、受託者 (以下「乙」という。)とは、本契約書及び北海道森林管理局ホームページに掲載している収穫調査委託契約約款(本調査の公告日現在)によって委託契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、双方記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

委託者(甲) 白老郡白老町日の出町3丁目4番1号
分任支出負担行為担当官
胆振東部森林管理署長 玉館 力

受託者(乙)

調 査 内 訳 書

森 林 管 理 署 等	調 査 場 所		予 定 面 積 (ha)	予定材積(m ³)	伐採種	伐採率 (%)	調査方法	備 考
	国 有 林	林小班						
胆振東部	糸井	1405は	4.00	299	列状間伐	25	3Dレーザ (標準地)	
胆振東部	糸井	1405へ	4.65	193	列状間伐	25	3Dレーザ (標準地)	
胆振東部	糸井	1406ろ	5.53	351	列状間伐	25	3Dレーザ (標準地)	
胆振東部	糸井	1406に	21.67	1674	列状間伐	25	3Dレーザ (標準地)	
合計		4箇所	35.85	2,517				

別紙 3

特記仕様書

収穫調査の実施にあたっては、「北海道森林管理局収穫調査規程」及び「北海道森林管理局収穫調査規程の運用について」によるほか、以下の定めによるものとする。

- 1 本物件の立木調査については地上型 3D レーザスキャナを使用して調査をすること。
- 2 狩猟期間中の安全対策について
北海道が定めるエゾシカ狩猟期間中は、当該国有林を管轄する森林管理（支）署が定める銃猟安全対策に従うこと。
なお、林道等入口付近及び事業地の前後等の視認しやすい場所に「発砲禁止」ののぼり（規格：のぼり 0.45×1.5m 以上、ポール伸縮 3m 程度）を 3 本設置すること。
また、市町村から森林管理（支）署に対し、市町村が実施主体となつて行う有害鳥獣捕獲について、事業地を含む周辺国有林において、土・日曜日、祝日、年末年始での可猟要請がなされた場合は、事前に森林管理（支）署・市町村・受託者の三者により協定を締結し日時を限定して可猟とする場合があるので協議に応じること。
- 3 多様な森づくりについて
調査実行中において、現地で除外区域が明確でない場合は、林況に関する状況について監督職員等に適宜情報すること。
- 4 選木について
立木販売の定性間伐調査においては、広葉樹胸高直径 34 cm 上を保残するので調査対象木から除外すること。
- 5 無人航空機の飛行
国有林野内において無人航空機を飛行させる場合は、「無人航空機を飛行させる場合の入林届」を監督職員等に提出するとともに、以下の点に留意すること。
 - （1）航空法等の法令を遵守し、法令に基づく手続きは原則として受託者が行う。特に森林内では障害物が多く、常時監視ができないことも想定されることから、飛行方法等によっては航空法に基づく許可等手続きが必要となる場合があるので留意する。
 - （2）無人航空機による事故を起こし、又は無人航空機を紛失した場合は、速やかに監督職員等へ報告する。
 - （3）無人航空機の回収は、受託者の責任において行う。
 - （4）一般の入林者や他の国有林野事業の受注者への危害又は迷惑行為を行わない。
また、必要に応じて一般の入林者や他の国有林野事業の受注者等と調整を図る。
- 6 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員と協議すること。

別紙 4

特記仕様書（地上型 3D レーザスキャナ）

地上型 3D レーザスキャナを用いた標準地調査については、別紙 3 特記仕様書によるほか、次によることとする。

1 計測装置（レーザスキャナー）

- （1）最大スキャン速度：43,200 点／秒以上
- （2）検出精度：30m 以上
- （3）レーザの種類：クラス 1
- （4）スキャニング角度：垂直 270 度以上、水平 180 度以上
- （5）その他：GPS 登載、バッテリー稼働、カラー画像化システム

2 計測データ解析ソフトウェア及び動作環境

計測システムにより次の計測集計解析が可能であること

①胸高直径 ②樹高 ③立木本数 ④材積 ⑤立木位置図データ

オペレーティングシステム：Windows10

NET Framework：4.7.2 以上

プロセッサ（CPU）：Intel Corei5（Intel Corei7 推奨）以上

メインメモリ：4GB 以上（8GB 以上推奨）

補助記憶装置：5GB 以上の空き容量がある HDD（SSD を推奨）

ディスプレイ：SXGA（1280×1024）以上推奨

USB ポート：空き USB ポート 1 ヶ以上

3 現地調査標示

- （1）標準地の設定：四隅の立木にピンク白斜線テープ二重巻き標示すること。
- （2）計測地点の設置：計測地点に仮杭（ピンクテープ）標示すること。
- （3）反射テープ：反射テープは貸与とし、広葉樹に表示することを基本とするが、広葉樹割合が高い林分においては、針葉樹に表示することも可。

4 樹高補正

- （1）樹高曲線データを使用する。
- （2）地上型 3D レーザスキャナによる解析した樹高データに差異が無ければ監督職員等と協議の上、解析した樹高データを使用することも可。

5 収穫調査復命書の作成

計測データ解析ソフトウェアで作成した CSV ファイルを国有林野情報管理システム取込用ファイル「立木調査野帳入力」へ転記すること。

復命書備考欄へ「地上型 3D レーザスキャナによる調査」と記載すること。

6 計測データの提出

計測データについては、調査完了届（部分完了届）の 3 提出書類等に、（地上型 3D レーザスキャナ計測ファイル）を追記し、提出すること。

7 その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員等と協議すること。

収 穫 調 査 業 務 委 託 内 容 表

- 1 委託調査の区域（林小班名又は区域を示した図面）

別紙のとおり
- 2 委託調査の林小班別面積及び合計面積

別紙調査内訳書のとおり
- 3 施業方法
- 4 業務の内容

区分	調査区分 調査方法 業務内容	立 木 販 売 の 調 査								製 品 生 産 資 材 の 調 査								摘 要
		皆 伐		択 伐		複層伐		間 伐		皆 伐		択 伐		複層伐		間 伐		
		毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	毎木 調査	標準 地	
区 域 調 査	区域標示																○	
	区域伐開																	
	区域測量																	
	選木																○	
	樹種の判定																○	
	胸高直径の測定																○	
	樹高の測定																	
	品質区分																	
	生被区分																○	
	野帳記入																○	
	調査木等の材積算定																○	
	調査木等の標示																○	
	極印の打印箇所の切削																	
	極印の押印																	
調 査 復 命 署 作 成	測量野帳																	
	位置図																○	
	伐区図																○	
	実測図及び面積算定書																	
	立木調査野帳																○	
	標準地調査材積計算書																○	
	樹材種別一覧表(樹種別再掲表)																○	
	立木価格評定因子調書																○	
	更新計画書及び計画図																	
	調査進行図																○	
	搬出関係図																○	
	引渡しに関する事項																○	
	調査状況写真																○	
	野帳等データファイル																○	

令和7年度胆振東部森林管理署收穫調査業務委託7号（地上型3Dレーザースキャナを使用した收穫調査）

															(ha)				(%)																(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(m)	(m)			調査条件					区域測量					区域標示					特殊条件				
No.	国有林	林班	小班	入・天別	立割別	伐採方法	伐採種	面積1	面積2	面積2	面積3	面積3	経路長さ	伐採率	調査方法	活用荒林・小畑	標印	樹幹径・高	除地	予定面積	伐倒率	下層樹生	林地傾斜	歩行時間	通過距離	道路	伐間	GNSS	測量内訳 (km)					区域標示内訳 (km)					特殊条件																								
																													標準地	標準伐	面積	測量計	標準地	標準伐	面積	測量計	標準地	帯	面積	区域標示計	林内・外	樹高	苗木調査	木 込	分収林	間伐回数	備考																
1	系井	1405	は	人工林	製品	間伐	針葉広葉	アカエゾ	4.00				1963	25	30(標準地)		無	4.00	4.00	0.08			289	疎	20	42	40.0	0.0					0.2		1.3	1.5	無	有	無	概有		3回目																					
2	系井	1405	へ	人工林	製品	間伐	針葉広葉	アカエゾ	4.65				1981	25	30(標準地)		無	4.65	4.65	0.10			193	疎	15	37	40.0	0.0					0.2		2.7	2.9	無	有	無	概有		2回目																					
3	系井	1406	ろ	人工林	製品	間伐	針葉広葉	アカエゾ	5.53				1976	25	30(標準地)		無	5.53	5.53	0.12			351	疎	10	12	40.0	0.0					0.2		1.0	1.2	無	有	無	概有		2回目																					
4	系井	1406	に	人工林	製品	間伐	針葉広葉	アカエゾ	21.67				1977	25	30(標準地)		無	21.67	21.67	0.44			1,674	疎	7	18	40.0	0.0					0.3		1.7	2.0	無	有	無	概有		2回目																					
合計																		36.45						2,517																																							

注1）測量・表示距離は図上で測定した林小班外周距離等をもとに算定した目安の値であり、実際の距離とは異なる場合がある。
注2）歩行時間は、自動車下車地点から林小班的中心までの歩行に要する時間であり、実測又は図上距離などから算定した目安値である。
注3）通過距離は、森林管理署又は所在地から調査箇所の最寄りの自動車下車地点までの距離であり、実測又は図上距離などから算定した目安値である。

様式第 5 号（第 4 条）

入 札 書

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官

胆振東部森林管理署長

玉 館 力 殿

（入札者）

住 所

商号又は名称

代表者氏名

（代理人）

氏 名

¥ _____

た だ し _____ の 代 金

入札内訳書は別紙のとおり

上記のとおり、入札公告、入札心得、仕様書及び契約条項を承知の上、入札します。

（注意事項）

- 1 金額は円単位とし、アラビア数字をもって明記すること。
- 2 用紙の寸法は、日本工業規格 A 列 4 番とし、縦長に使用すること。

様式第 6 号（第 4 条）

委 任 状

代理人氏名

上記の者を私の代理人と定め、下記権限を委任します。

記

- 1 入札年月日 令和 年 月 日
- 2 件 名 _____
- 3 入札に関する一切の件

令和 年 月 日

住 所
商号又は名称
代表者氏名

分任支出負担行為担当官
胆振東部森林管理署長
玉 舘 力 殿

紙入札参加届

1 発注物件（業務）名

2 電子調達システムでの参加ができない理由（いずれかに○印を付す）

ア 電子調達システム申請したが、審査手続中であり承認が入札日に間に合わないため。
（申請日：令和 年 月 日）

イ 電子調達システムの利用に必要な機材の調達が入札日まで間に合わないため。
（調達予定日：令和 年 月 日）

ウ その他（具体的に記載）

上記のとおり、電子調達システムを利用して入札に参加できないため、紙入札で参加を致します。

令和 年 月 日

住 所
商号又は名称
代表者氏名